

アジア・太平洋戦争、 日本の軍隊とは

会場：名古屋市立大学

1937年7月7日北京郊外で盧溝橋事件がおきて、77年目の7月に、「研究者の報告（戦争を学ぶ）と、戦場体験者の証言（知る）と両方を連続」して聞くことで、「戦争とは何か」「軍隊とは何か」、そして「憲法九条」「集団的自衛権」とは何かを学びあいます。今年は、東京から吉田裕さんをお招きして200人入る会場で行います。乞う期待ください。参加費無料

I アジア・太平洋戦争、日本の軍隊とは①

講師：吉田裕（一橋大学大学院教授、日本近現代政治史・日本近現代軍事史）

日時：7月20日（日） **2限 11時10分～12時30分**

会場：名古屋市立大学・滝子キャンパス 大教室

内容：

吉田さんは、戦前期日本の政軍関係、強大な政治勢力となった軍部についての研究を進めつつ、戦争犯罪や日本の戦後処理、戦後の日本人の戦争観の研究も行ってきた。この講演では、「政治」と「戦場」という2つの側面から、日本の軍隊の特質を明らかにする。



II アジア・太平洋戦争、日本の軍隊とは②

講師：近藤一（「不戦兵士・市民の会」語り部、戦場体験証言者）

日時：7月20日（日） **3限 13時10分～14時30分**

会場：名古屋市立大学・滝子キャンパス 大教室（Iの講座と同じ教室）

内容：

「私は、十五年戦争の中国戦線で中国人十数人、沖縄戦で米兵十数人を殺傷しています。仲間もほとんどが殺されました」と語る近藤さん。94歳。戦争準備が進む今、戦争・戦場の本当の恐ろしさを語ります。



◆これまでの連続講演

2013年大脇三千代(マスコ)・安川寿之輔(研究者)

2011年安川寿之輔(研究者)・近藤一(戦場体験者)

2012年笠原十九司(研究者)・近藤一(戦場体験者)

2010年中塚明(研究者)・近藤一(戦場体験者)

◇問合せ先：「不戦兵士・市民の会」東海支部事務局：宮城道良（090-3424-5019 m-myg@dk2.sonet.ne.jp）

■名古屋市立大学・滝子キャンパスへの行き方

滝子（山の畑）キャンパス（〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1）

・交通アクセス

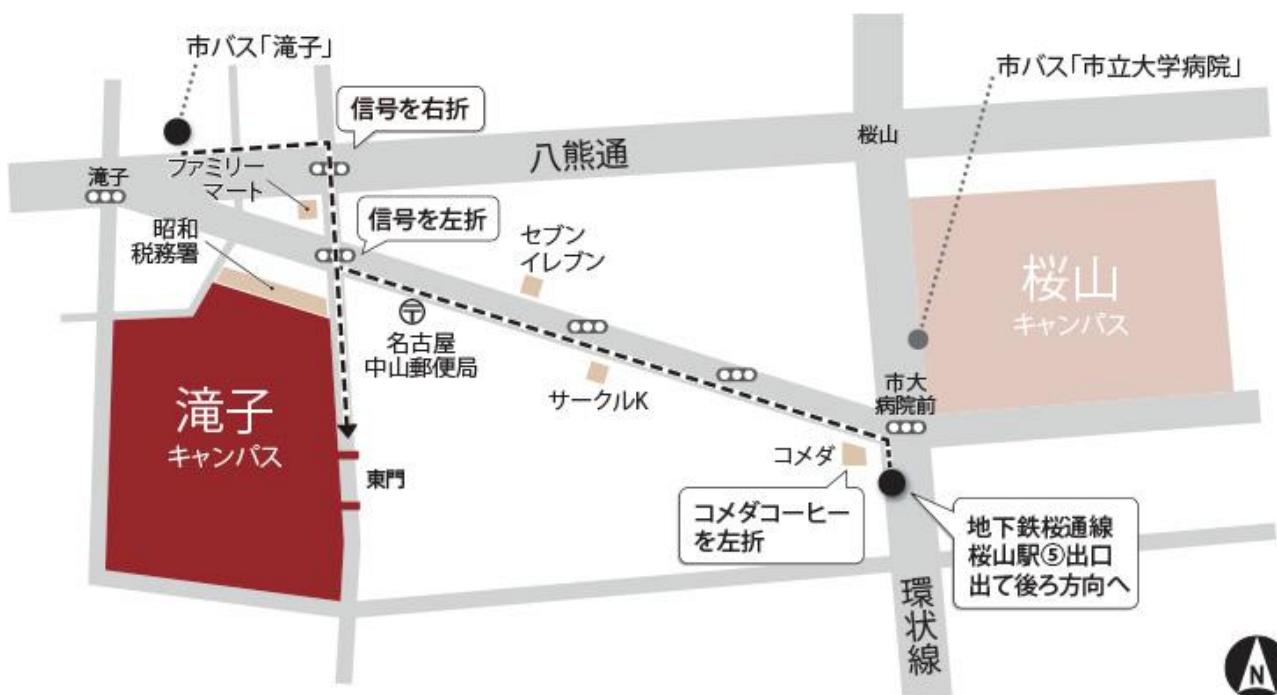
○地下鉄でのアクセス

桜通線「桜山」駅下車 5 番出口から徒歩 12 分

○市バスでのアクセス

金山駅 金山 7 番のりばより金山 11・12・16「滝子」下車

金山駅 金山 8 番のりばより金山 14(桜山経由)「滝子」下車



*注意：名古屋市立大学は、病院・医学部がある「桜山キャンパス」など4つキャンパスあります。今回の「不戦のつどい」（愛知サマーセミナー）が行われる会場は、「滝子キャンパス」（山の里）です。上記の地図を見ながら会場にお越しください。なお、当日は、目印の旗ざおや、案内の高校生が、会場案内に途中に並びます。不明な点はお聞きください。

*教室：6月11日時点では、会場は未定ですが、200～300人規模の会場が用意されます。わかり次第、Webサイト（<http://www.samasemi.net/>）でもアップされます。